



JAPAN EAST REGION

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
The International Association of Y's Men's Clubs



Change! 2022 ニュース

No. 10

Change! 2022 推進委員会 2020. 4. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「こういう時だからこそ ITツールの積極活用を！！」

Change! 2022 推進委員・ユース事業主任

渡辺 大輔 (東京武蔵野多摩)



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人の集まるイベントの中止、延期が実施されていますが、そんな中でも何かできることはないかということで、Change! 2022 推進委員会でも、委員会の開催ができないため、Skype での委

員会が2回開催されました。

あるクラブでは Skype や、LINE や、Zoom などを利用して音声のみの例会や、テレビ電話機能を使った例会が行われています。巷では「Zoom 飲み」と言う言葉まで現れました。アルコールを片手に、テレビ電話越しに飲み会を開催しているそうです。

テレビやラジオなどでも、リモート機能を使って家にいながら番組への出演なども増えてきて、今後こういった動きは増えていくのではないのでしょうか。Zoom を使った授業等も行われています。

ここで、テレビ電話ツールについて少しご紹介いたします。

▼ LINE (LINE 株式会社)

200 人まで同時通話が可能です。テレビ電話も 200 人まで同時にできますが、表示されるのは最大 4 名 (iOS 版)、最大 6 名 (Android 版)、最大 16 名 (PC 版) になります。

▼ Skype (Microsoft 社)

Skype は、50 人までビデオ通話が可能です。事前に登録してあった方が使いやすいですが、登録をしていなくてもメンバーからの招待があれば使用できます。

▼ Zoom (ズームビデオコミュニケーションズ)

2011 年創業と比較的新しい会社で、今爆発的にユーザー数が増えています。主催者以外は事前登録も必要なく、ホワイトボード、画面の共有など、テレビ会議に必要なツールは一通り揃っています。無料版では 100 人まで、40 分のビデオ通話が可能です。

▼ ハングアウト (Google)

以前は、使用には Google のアカウントが必要でしたが、現在は招待されればアカウントがなくても使用できます。ビデオ通話は 25 人まで参加可能です。

これらのアプリは、基本的には無料で使用することができます。人数が増えれば、通信容量が大きくなりますので、モバイル通信ですと遅延が発生しやすくなります。PC (Windows、Mac)、アンドロイドスマートフォン、タブレット、iPhone、iPad 等、さまざまなデバイスで利用が可能です。

ぜひ、この機会に利用のご検討をされてはいかがでしょうか？ ビデオ通話機能を使った卓話などが事前に告知されていれば、他クラブのメンバーの視聴も増えるのではないのでしょうか。新しいメンバー獲得のツールとなるかもしれません。

使用方法がわからない時などは、IT アドバイザー、札幌さん(熱海)、当方までお問合わせください。

今は、とにかく自分の身を守ることが一番大切ですが、家の中に居ながらも、気分転換の時間も大切ではないでしょうか。

《 渡辺大輔さんのプロフィール 》

1981 年 6 月生まれ。

2000 年頃 友人の紹介でワイズのユースクラブを知り、ユースの活動を開始する。

2002 年 (オーストラリア)、2004 年 (インド) IYC に参加

2007 年 6~8 月 STEP プログラムにて北欧を訪問

2008 年 6 月 1 日 ワイズ・ユースクラブ「東京・Y3」チャーター (2018 年 6 月解散)

2013 年 10 月 東京武蔵野多摩クラブ入会

2013-14 年 チーム未来メンバー

2018-19 年 東日本区広報・伝達 (PR) 専任委員

2019-20 年 ユース事業主任

2019 年~ Change! 2022 推進委員

仕事は、炉の製造・販売

▼ Change! 2022 アクションプラン

Change! 2022 推進委員会

2020年2月1日、東京YMCA社会体育・保育専門学校において、2019-2020年度東日本区「Change! 2022 シンポジウム」が開催されました。

この中で、栗本治郎 Change! 2022 推進委員会委員長から、これからの新しいクラブ像として『Change! 2022 アクションプラン』が提唱されましたので、以下に紹介します。



【シンポジウムでアクションプランを発表する栗本委員長】

▼ 会員数の減少と高齢化

東日本区発足時の1997年には会員数は1,246名でしたが、その後22年が経過し、2019年7月時点では849名に減少しました。実質397名の減少です。また、会員の平均年齢はおよそ11歳高齢化しました。

▼ アンケートの結果

1. 会員がワイズに求めるもの→奉仕 90%、社交 50%、研鑽 40%、居場所 29%、ステータス 9%
2. 今のままでワイズの将来はどうなるのか→衰退する 67%
3. ワイズの存続→残したい 83%
4. 将来的に期待するクラブ像→各クラブの多様化 75%
5. ワイズの諸活動、行事にキリスト教の儀式(聖句朗読・祈祷・ワイズソング)が必要としますか→必要と思う 35%、思わない 31%、どちらでもない 34%

▼ ワイズの抱える課題

会員の減少、会員の高齢化、知名度の低さ、金銭負担→勧誘の難しさ、違和感のある例会プログラム、楽しくない・魅力ない例会、魅力あるCS活動不足。

▼ Change!2022 アクションプランの提唱

1. 地域に根ざしたワイズ独自の魅力あるCS活動。地域イベントへの参加や他団体との協力。非会員を巻き込んだ事業の展開。

YMCAとの協働事業。

法人化→地域での知名度の向上。

2. FacebookなどのSNSを活用してのワイズの外開きの情報発信。

SNS講習会の開催→ワイズの知名度の向上。

3. 各種会合のキリスト教の儀式を見直し。

全ての人が入りやすいクラブ運営。

違和感のないプログラム。

入りたくなるワイズを！

4. 5名以上の新クラブの奨励。

奉仕・社交・研鑽・居場所・ステータスなどを満たせるクラブ。

若い人を引き付けるプログラム。

▼ 主な取り組み

★Facebookの構築

2019年12月末までに30クラブ

Facebook広告:2019年12月スタート

目標:2020年末に45クラブ、2021年末に全クラブ

★Change! 2022 ニュース

毎月発行中(第10号まで発行)

★新クラブ設立の支援

国際協会申請書類のひな型作成、および申請のお手伝い。

各部の新クラブ設立委員会に委員も参加する。

★Change! 2022 シンポジウム開催

年1回、2020年・21年・22年 計3回開催予定

北海道部・北東部は、部大会・評議会または個別クラブに委員が訪問(年1回、合計3回)

★クラブ自己紹介パンフレットの作成

目標:2020年末に40クラブ、2021年末に全クラブ

毎年、会員増強、新クラブ設立に関する顕彰を実施する。(例:東日本区大会)

★2022年12月末までの目標会員数

クラブの会員増:849名→1,129名(133%)

新クラブ設立による会員増:3年間で13クラブ 117名

北海道部1クラブ、他の6部は各2クラブ

▼ Change! 2022 目標会員数

	2019.7	2020.1	2020.7	2021.1
会員数	849名	900名	950名	1,000名
新クラブ数		1クラブ	2クラブ	2クラブ

	2021.7	2022.1	2022.7	2022.12
1,060名	1,120名	1,180名	1,246名	
2クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ	

▼ 各部 エクステンション委員長より

「富士山部エクステンション委員会報告」

富士山部E委員長 久保田 康正 (伊東)



1990年、私が伊東クラブ入会以来、1クラブが出来2クラブが消滅しました。何が原因なのか、やはり会員数減少に伴いクラブ事業が出来なくなり衰退し、消滅につながっているのではと思われま

す。富士山部各クラブはYMCAの事業をお手伝いするのではなく、クラブが独自にキャンプ教室・スキー教室・ドッジボール大会などを企画/立案し、クラブ員全員で活動しなければなりません。最低でも15名いなければチャーター出来ないと思っています。

数年前5名より新クラブがチャーター出来ると聞き唖然としました。しかし国際よりの通達である以上、新クラブ設立に向けて活動していきたいと思いましたが事情により頓挫し、次に沼津・裾野地区に二つ目を目指しましたが、これも失敗に終わりました。

今後どうしたらいいのか考えるなかで、近日中に「熱海YMCA」より「静岡YMCA」に名義変更したいとの話があり、現在富士山部は県東部にしかクラブが無く、今後県中部・西部へと進出していかねばならないと思っています。そのためには県中部・西部には知人も少なく、東西日本区の皆様に紹介して頂ければ幸いと思っています。Change! 2022 終了時には最低1クラブの増設をしていきたいと思っています。

▼ 各部 会員増強事業主査より

「あずさ部の会員増強事業について」

あずさ部主査 駒田 勝彦 (甲府21)



世界中に脅威を与えております新型コロナウイルスですが、Y's関係各位におかれましては、つつがなくワイズダムにお励みのこととお慶び申し上げます。

あずさ部の今期会員増強事業は、赤羽美栄子あずさ部長の重点活動の第1に「EMC活動の一層の活発化」を挙げてきています。

このように、東日本区にしても、あずさ部としても会員増強は必修の事項です。

今期あずさ部EMC事業主査方針として、あずさ部各クラブでは、2019年7月1日の数値が2015年7月の数値より低い場合、2015年7月1日の数値に達するようご努力を希望してまいりました、また、超えているクラブにあっては一層のご活躍を期待してまいりました。

あずさ部全体としても同様に、2015年7月の数値が182名ですので、2019年7月1日の数値171名を2015年7月1日の数値に達するようご努力を希望してまいりました。

各クラブの皆様のご努力によって、2020年3月20日現在183名があずさ部の数値です。現在、年度当初の目標数値を1名増で迎えております。

この中で、現在新入会者数は、2019年7月1日以降12名の方がおられます。中でもダントツは甲府21クラブです、東京たんぽぽクラブの2名の増はご努力の成果で、2015年の目標数値を超えています。

しかしながら現実は大変厳しいものがございますが、会員の増強事業は、それぞれクラブにおいて地域奉仕活動の開催をして地域への貢献、ワイズの知名度アップが行われていることを通して、また、YMCAの活動の中からワイズメンズメンバーに繋がる方が生じるであろうという期待を持つこと等から、長い目で見ていくことではないかと思ひます。

▼ 新入会員からのメッセージ

▽ 今井 真由美さんのメッセージ ▽

熱海クラブ 2019年9月入会



令和元年9月に入会させて頂きまして、新米中の新米の今井真由美です。人生では決して新米というような年齢ではございません。主人の海外赴任でアメリカ、ヨーロッパと回り、その中で子育てをして参りました。

その中で、海外では教会を中心にしたコミュニティが、国際親善、青少年育成の大きな柱となっていることを知り、社会を変えていくのは決して国へのお任せではなく、善意と互助精神の草の根活動であると思ひ知りました。

帰国後早速に自分もそうした活動をしたいと思ひ

ておりましたが、病身の親たちを世話する中思うにまかせませんでした。自由な時間ができて真っ先にしたのは、予備校講師として地元のお子さん方にふれること。子供さんは「両親や学校の先生以外に信頼できる楽しい大人が必要なんだ。」と実感しました。

ご縁がありまして熱海ワイズメンズクラブに入会させていただきました。私の願いであった青少年育成、地域への貢献を長年にわたり実践されて来られましたクラブの歴史を知り、その歴史は代々のメンバーの方々の豊かなご経験、また固い結束によって成り立っていることが痛感されました。

熱海という地域を、ガッチリ組んだワイズメンズクラブのスクラムが陰で支えている、というのは何と心強いことでしょうか。

今年は熱海も大雨の被害で水道が一部止まり、お風呂に事欠く方ができました。こういう時、真っ先に動く姿に心熱くなりました。

新会員として先輩方の御指導のもと、ライフワークである青少年育成のお手伝いをして、「本物のワイズ」に成長したいです。人生に「もう遅い」はないと信じています。

▼ クラブ・ブリテンより

コロナウイルスなんかに負けるな！ Change! 2022

会員増強事業主任 札埜 慶一（熱海）



昨年末に中国で新型コロナウイルス（COVID-19）発生がはじめて報告されてから、約3ヶ月が経ちました。感染は世界中に広まり続け、過度な不安が蔓延しています。国の「専門家会議」はコロナウイルスの感染拡大のスピー

ド抑制のため、「対面で人と人との距離が近い接触（互いに手を伸ばしたら届く距離）が、会話などで一定時間以上続き、多くの人々との間で交わされるような環境に行くことをできる限り回避」することや、企業などが集会や行事の開催方法の変更、移動方法の分散、リモートワーク、オンライン会議など、出来る限りの工夫を講じることを実践して行かなければならない、という見解を発表しました。

その中で、私達ワイズメンバーが四ツ谷に集まり開催する「Change! 2022 推進委員会」の会議をやめて、一箇所に集まらなくても会議ができるよう

「Skype」で会議をしようということで、唐突に準備を進めました。

そしてついに3月4日の18時から「Skype」によるChange! 2022 推進委員会の初会議が開催されました。最初は14人が参加し、1人が移動中で電池切れのためドロップし、13人で会議は続けられました。ここでも栗本治郎委員長の手腕が発揮され、スムーズに会議は進展し、終了しました。いつもの会議より良かった部分もありました。大川貴久書記はそのままこの会議を録画し、議事録を作らなければならないから大変だとは思いますが。

意外でしたが、Skypeは最初の設定さえ終わってしまえば、あとは比較的スムーズに進み、20時前にはあっけなく会議が終了しました。当初は試験接続程度に考えていたのですが、全員が接続できた時点で、そのまま会議開催となったのも驚きでした。

（熱海クラブ3月号ブリテンより抜粋）

▼ ラジオ番組を聞いて

「大丈夫さ、うまくゆくから」

音楽界の大御所・財津和夫さん（71歳、チューリップのリーダー）は2017年に大腸がんが発症し、治療に専念しておりましたが回復に向かっており、今年の7月にコンサートを開くことになったそうです。

それに向けてみんなを、そして自分を勇気づける歌を作曲中で、今までは曲を先に作り、それから歌詞をとという順番を、今回は歌詞から作り出そうとしているとのこと。

その1節は

「大丈夫さ 大丈夫さ うまくゆくから
大きな力 君の中から
大丈夫さ 大丈夫さ すべてうまくゆく
人生はひとつ でも一度じゃない」

（2月16日NHKラジオ「おはよう日本」のインタビューより 編集委員 藤井寛敏 収録）

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 札埜 慶一（熱海）

3月には、下記の方々が入会されました。（敬称略）

No.	入会者	（クラブ名）	紹介者
1.	佐藤 哲郎	（甲府21）	荻野 清
2.	山口 了	（甲府21）	荻野 清
3.	岩瀬 勝也	（熱海）	深澤 勇弘